

今週の主な動向

- 飛騨地域、岐阜地域で伝染性紅斑の患者が多く報告されています。
- 新型コロナウイルス感染症の報告数が増加しています。飛沫感染や手指を介した感染に注意しましょう。
- 県内で初めて重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者が発生しました。屋外で活動する時は、長袖、長ズボンを着用し、忌避剤を併用するなどマダニ対策をしましょう。

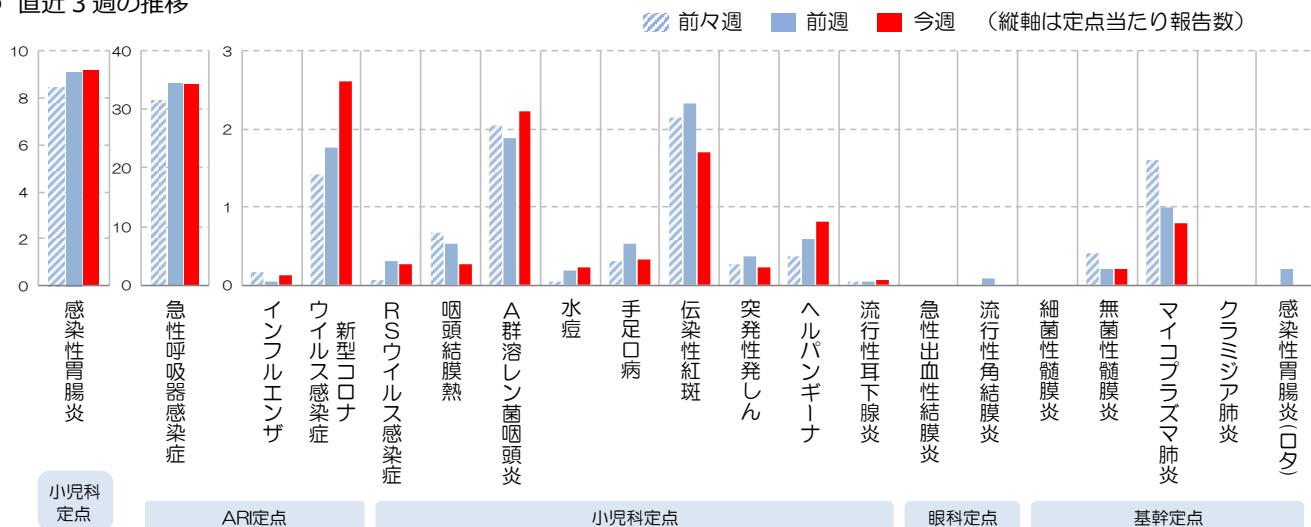
【参考】『ぎふ感染症かわら版』「マダニ」が媒介する感染症が発生しています！

<https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/455433.pdf>

定点把握対象疾患

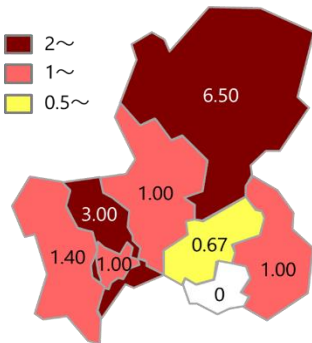
<ARI 定点：45 か所、小児科定点：27 か所、眼科定点：11 か所、基幹定点：5 か所>

● 直近 3 週の推移

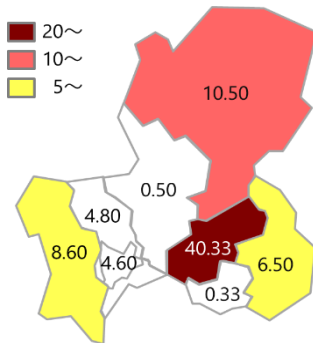


● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

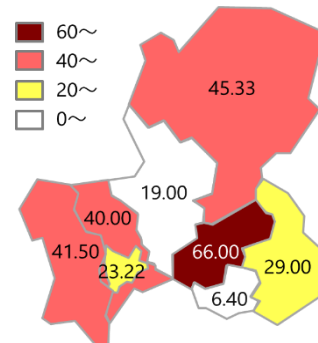
<伝染性紅斑>



<感染性胃腸炎>



<急性呼吸器感染症>



全数把握対象疾患

● 新規報告分

- 1 類感染症：なし
- 2 類感染症：結核 7 例
- 3 類感染症：なし
- 4 類感染症：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）1 例
- 5 類感染症：劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 例、侵襲性肺炎球菌感染症 1 例、水痘（入院例）1 例、梅毒 4 例、百日咳 41 例

2025 年累計
545 人

保健所別の百日咳患者報告状況（報告週別）

